

NiTiファイルファイルを用いた  
エンドドンティックス

---

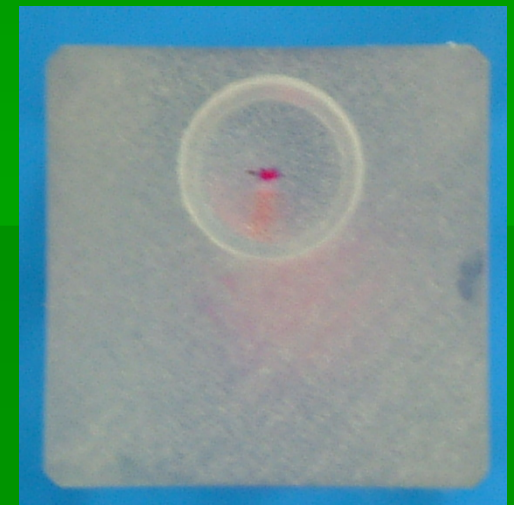
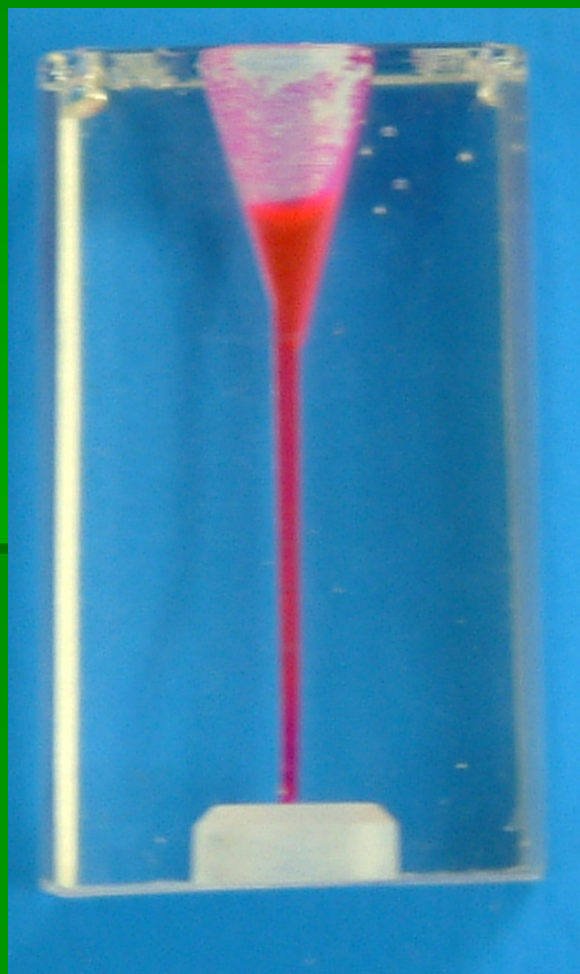
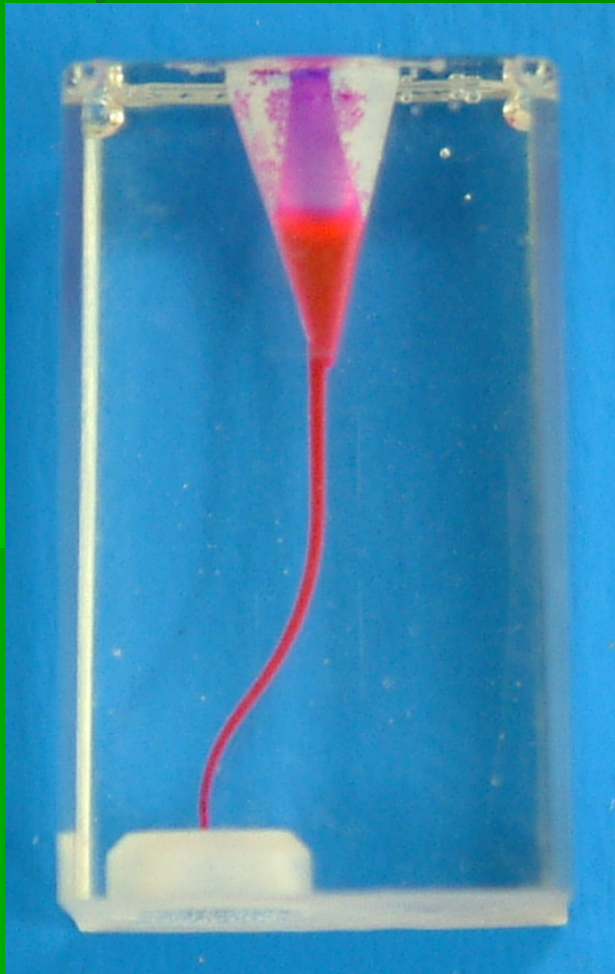
【デンツプライのS字状根管模型を使った、  
NiTiファイル(K3とエンドウエーブ)の比較】

日本歯内療法学会

第11回大会テーブルクリニックにて発表

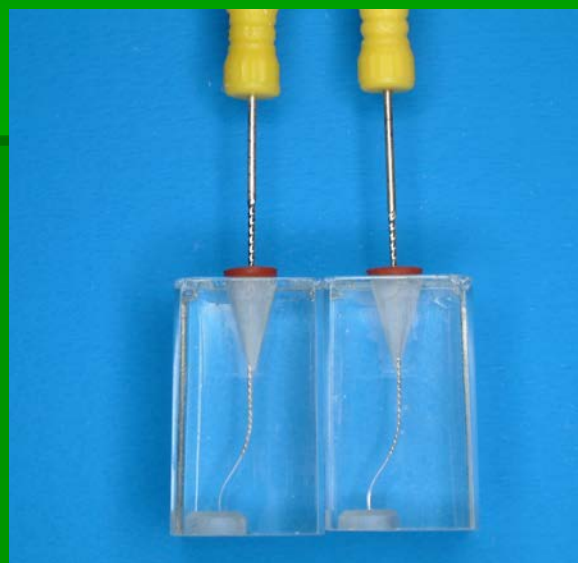
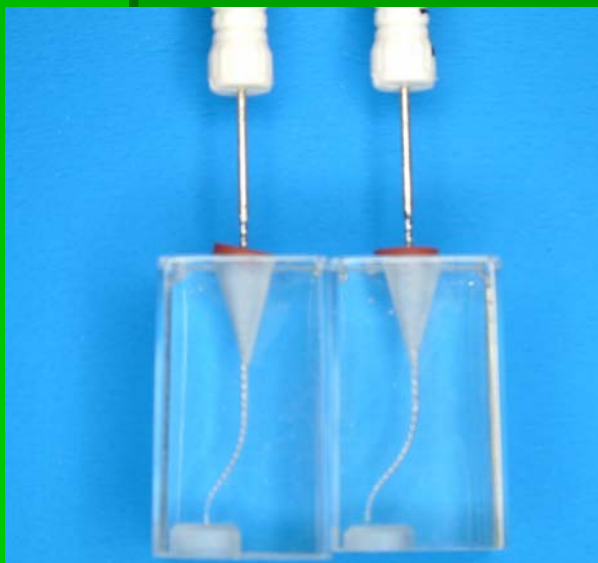
# デンツプライのS字状根管模型について1

- こういう形態の根管模型です。



## デンツプライのS字状根管模型について2

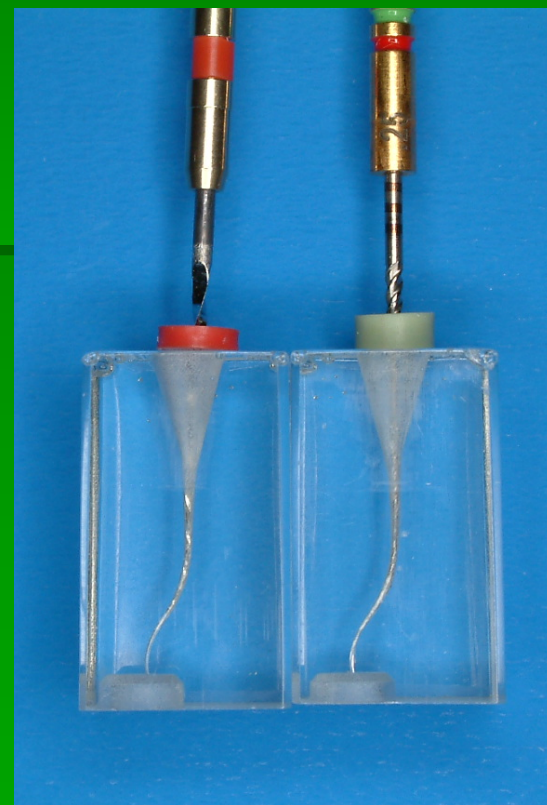
模型の根管にトリプルファイルを入れて調べたところ、どの模型もほとんど誤差なく、  
#15では13mm、#20では11mm  
#25では10mm、#30では7.5mm  
の長さまで挿入できました。  
規格化された模型である事が確認できました。



## デンツプライのS字状根管模型について3

- オリフィスオープナーの  
12テーパー・10テーパー・  
08テーパーをデンタポートのトルクコントロール2にて6ストロークした後、  
k3とエンドウエーブの挿入可能な長さを測定  
してみました。

# デンツプライのS字状根管模型について4



号数・ テーパー	#30・06	#25・06	#25・04
K3	11mm	11mm	11.5mm
ウェーブ	11mm	11.5mm	13mm

## 実験結果

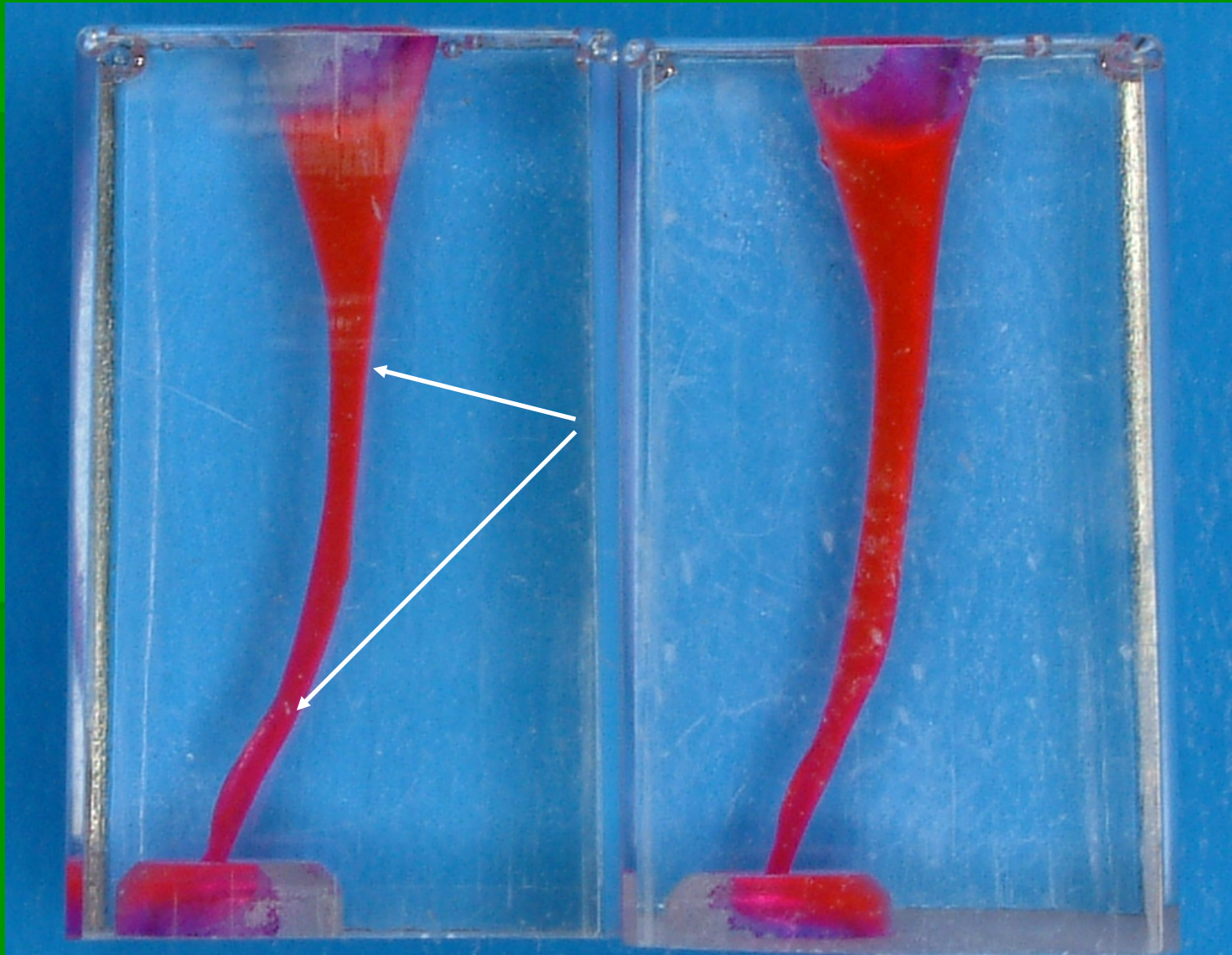
この根管模型の場合、K3・エンドウエーブ両方とも根尖まで形成できましたが、K3の場合、パッキマックに必要な根管形態（#30 06）にNI-TIファイルのみでは形成することが出来ませんでした。

◆K3では#20 04で根尖まで形成後、  
#25 04は根尖まで形成できましたが、  
#20 06は根尖まで形成できませんでした。

# K3とエンドウエーブの形成の比較1

K3

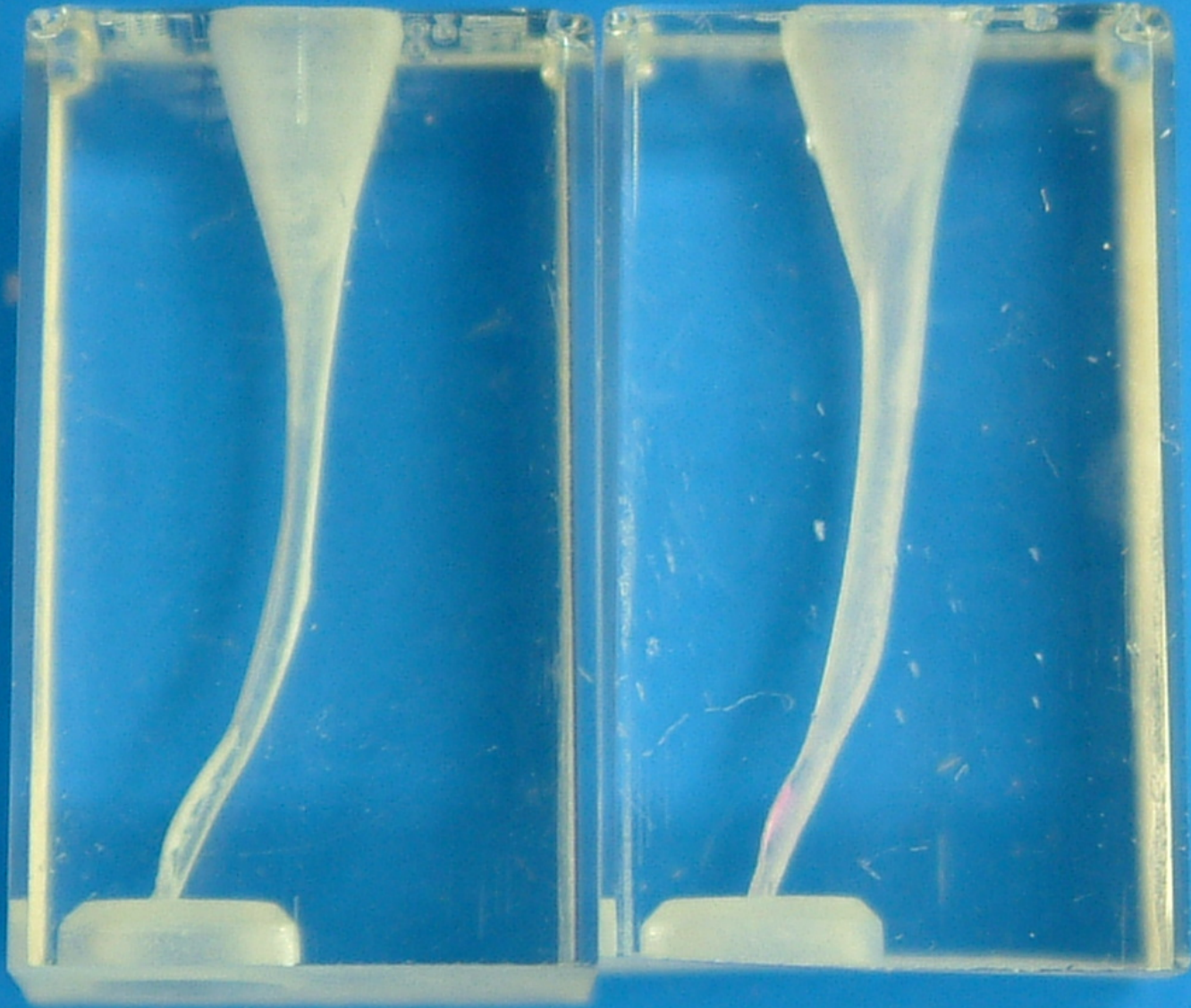
エンドウエーブ



# K3とエンドウエーブの形成の比較2

K3

エンドウエーブ



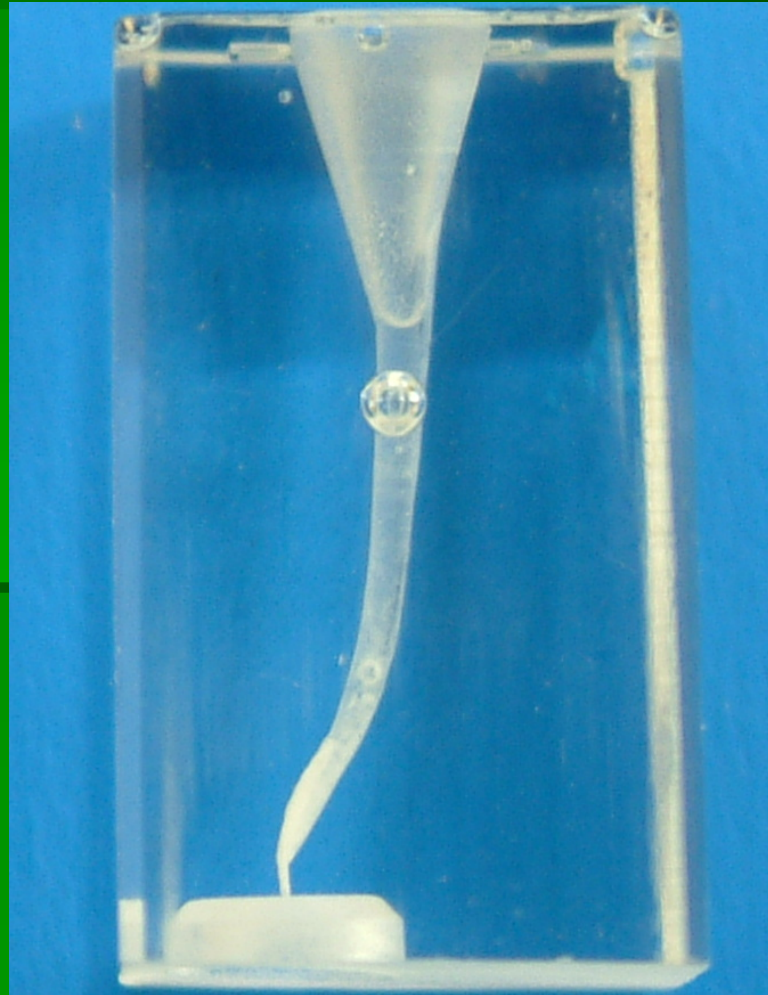


# エンドウエーブを用いた根管形成1

#30 06



#25 06



# エンドウエーブを用いた根管形成2

#25 04

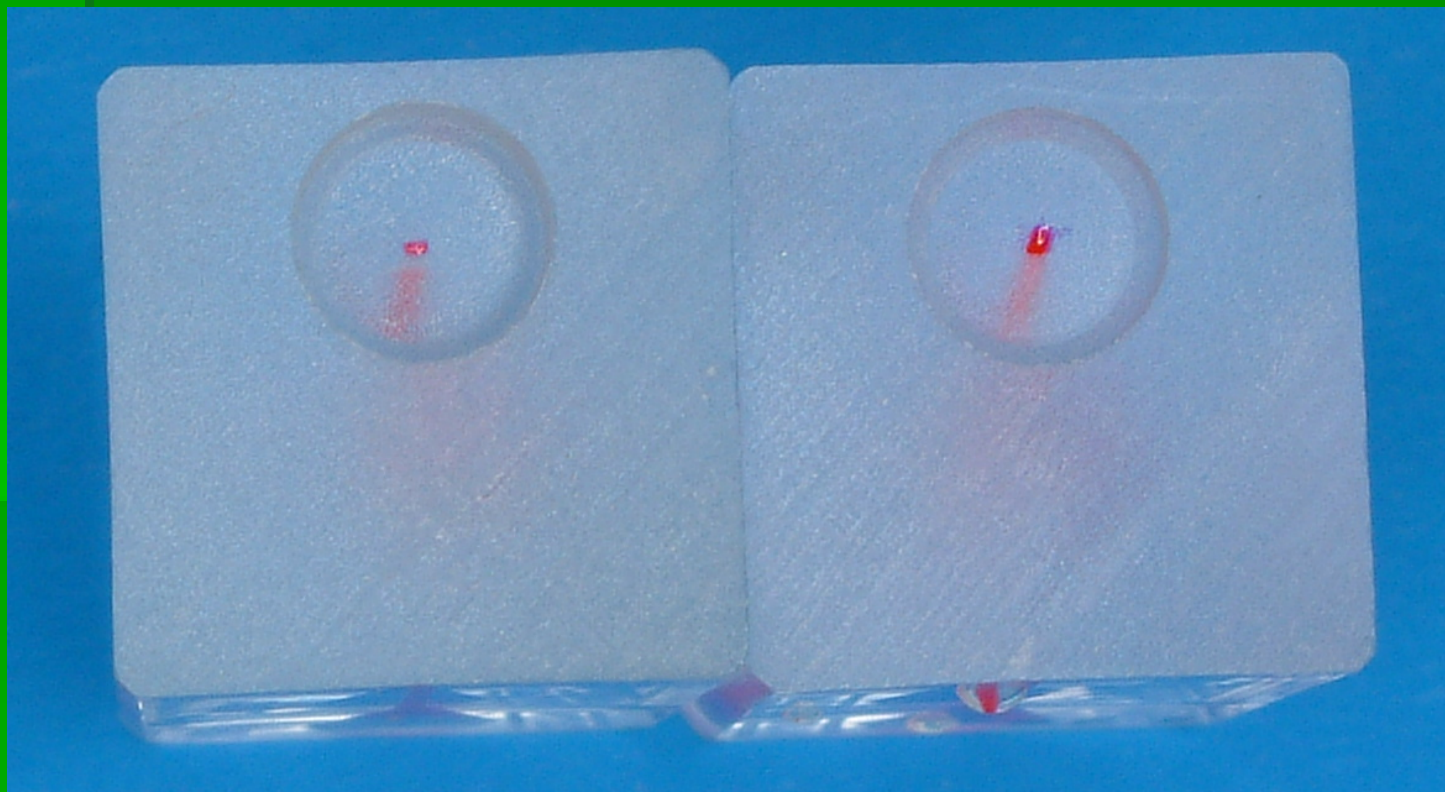
#30 06



# エンドウエーブを用いた根管形成の評価1

形成前

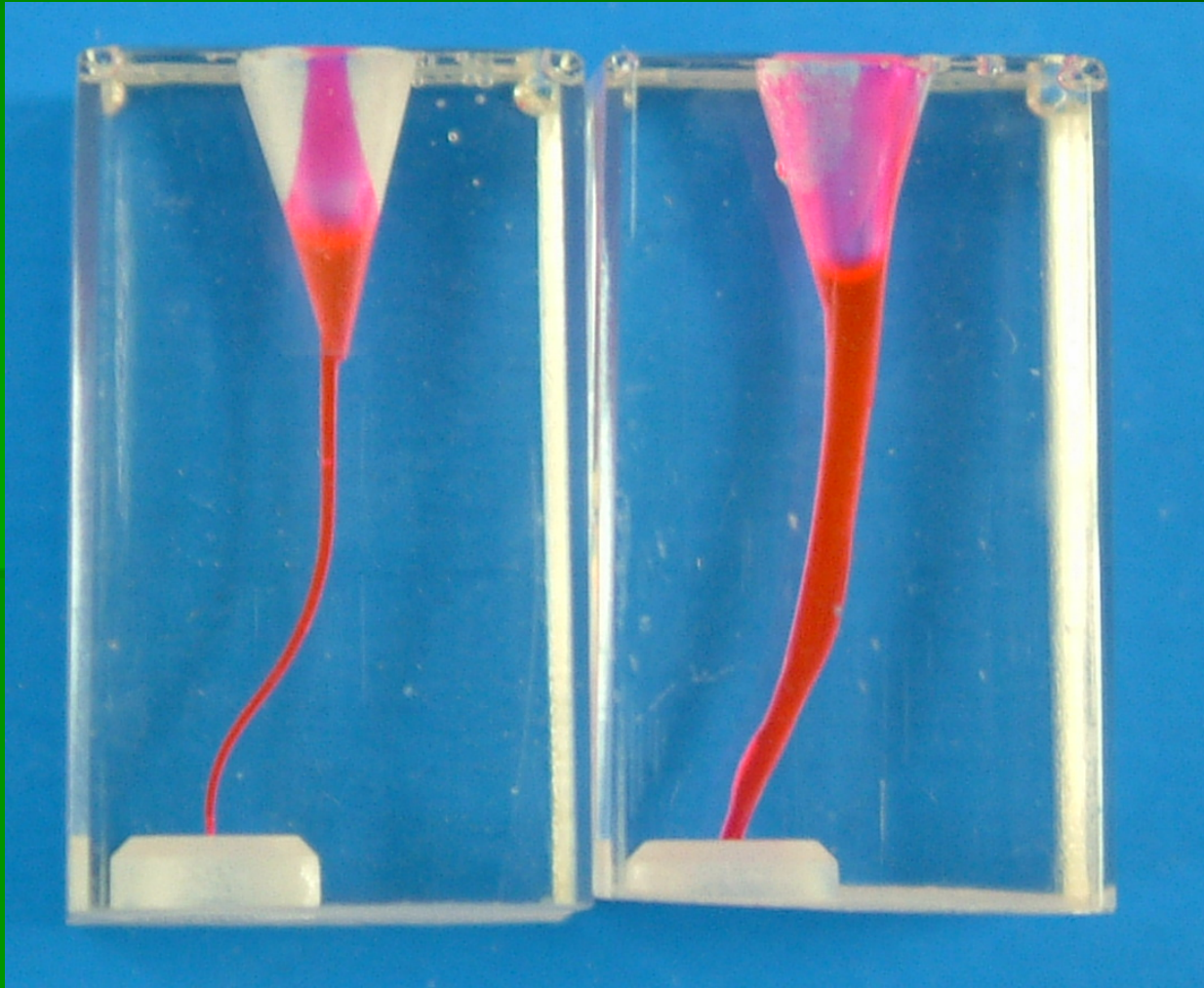
形成後



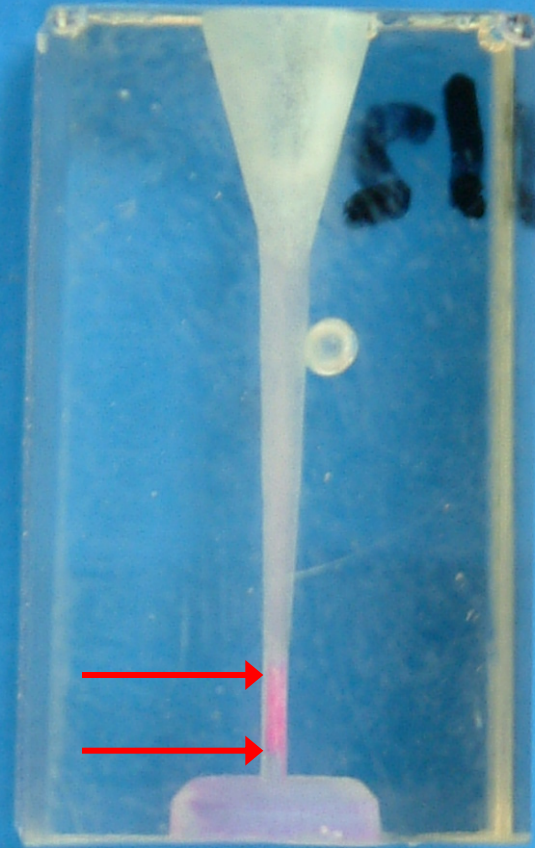
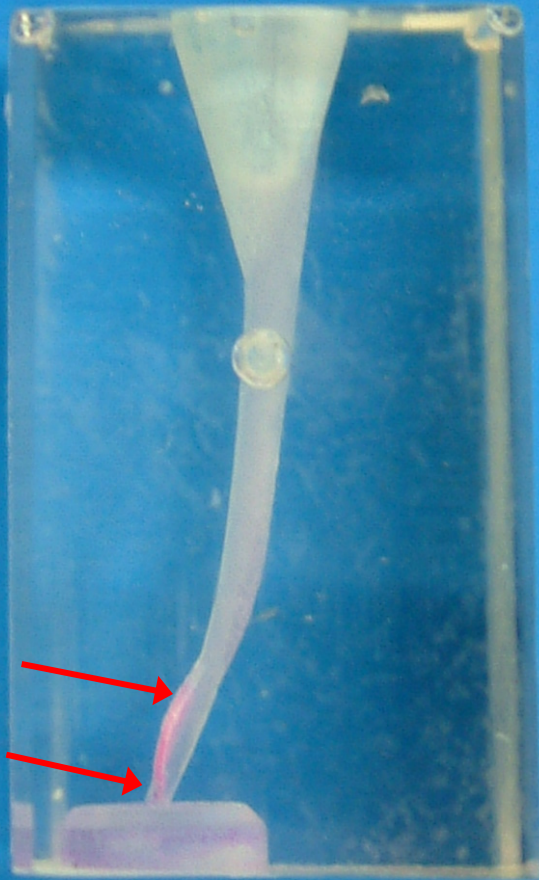
# エンドウエーブを用いた根管形成の評価2

形成前

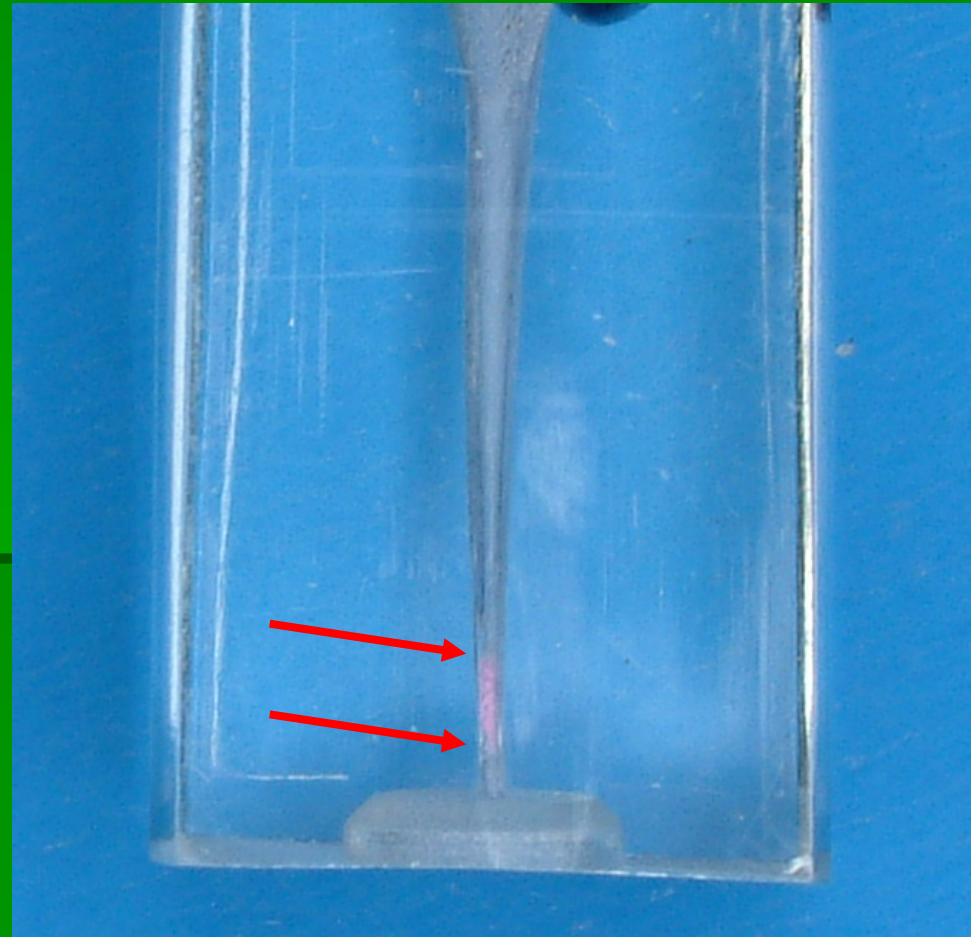
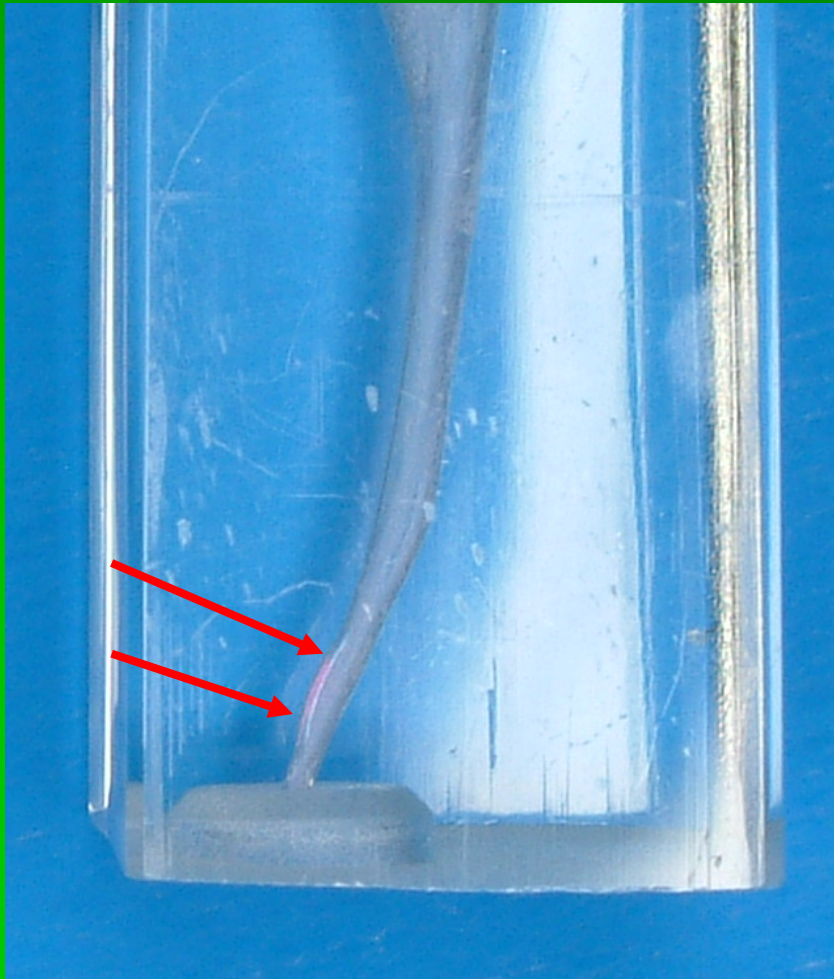
形成後



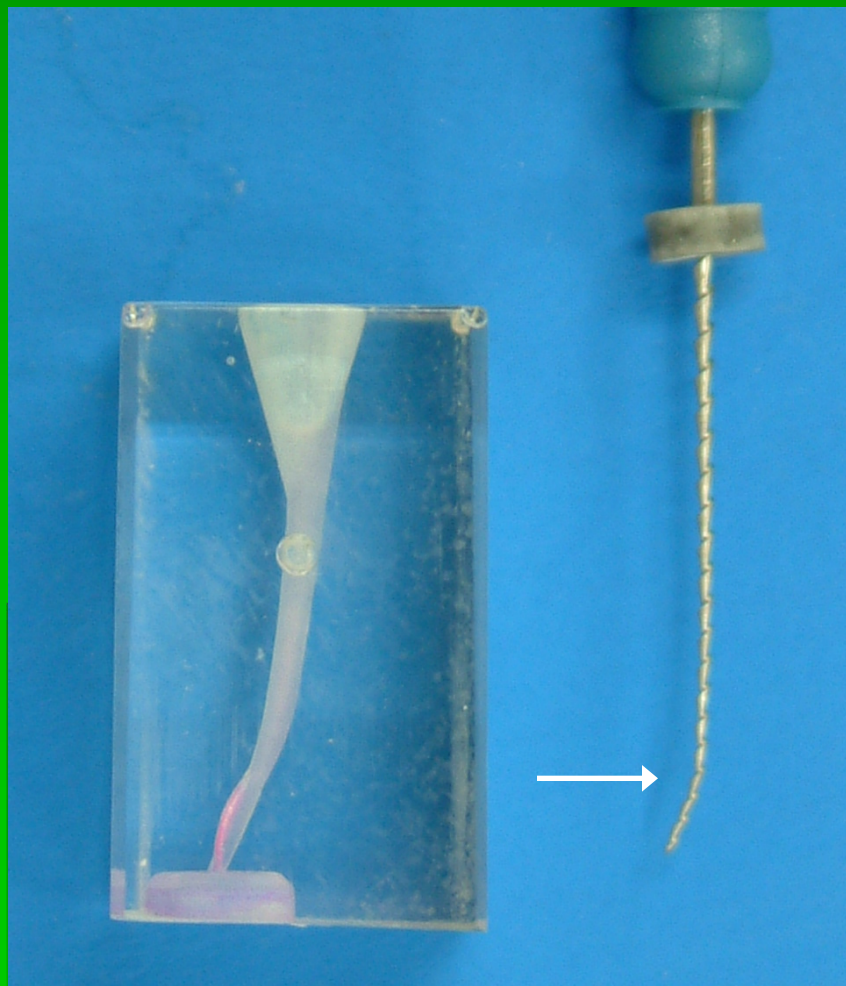
エンドウエーブを用いた根管形成の評価3  
マークの部分の除去が完全には行われていません。



エンドウエーブを用いた根管形成の評価  
マークの部分の除去が完全には行われていま  
せん。この部分の除去を行うには??



この状態では、ファイルの先端にカーブをつけてもターゲットに届きませんでした。

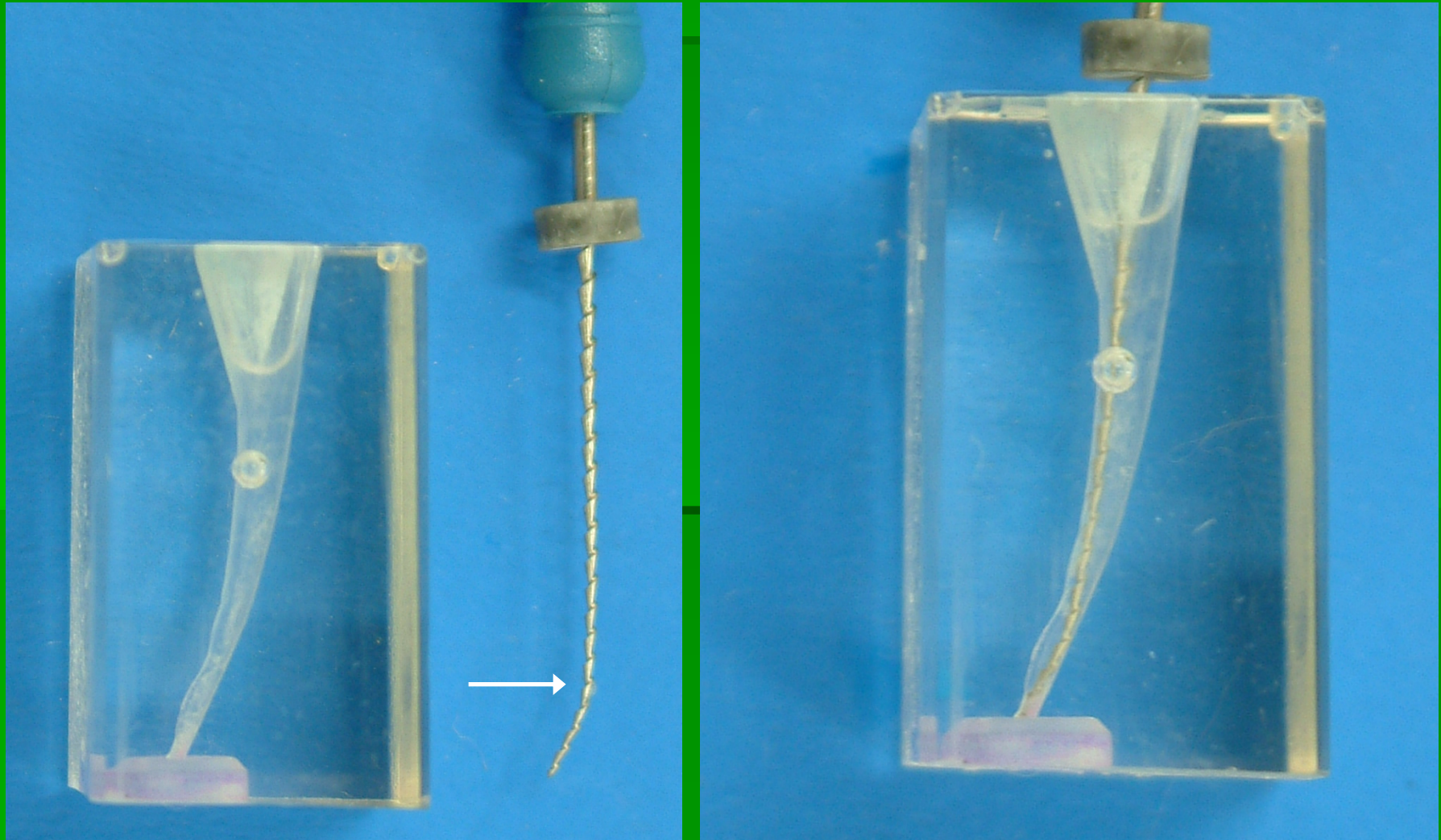


根尖彎曲方向と逆の入り口の壁をおとし、  
直線形成を行いました。

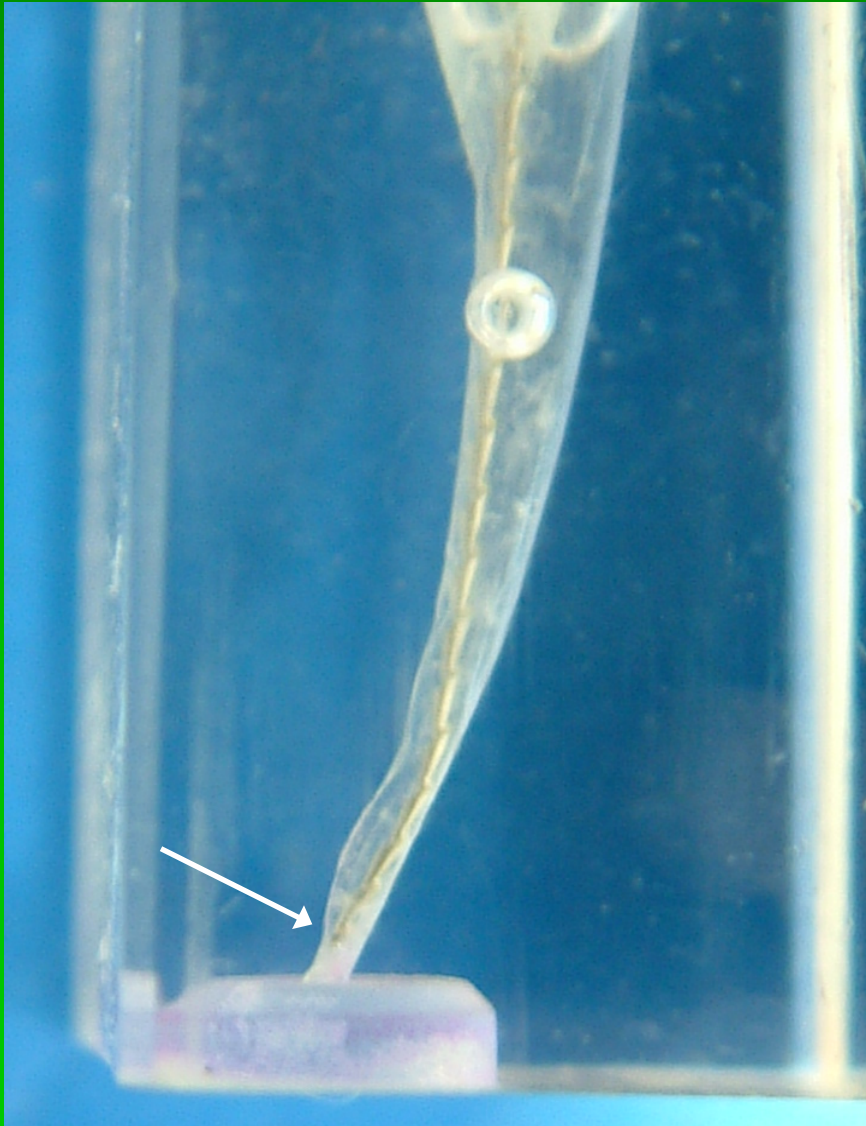




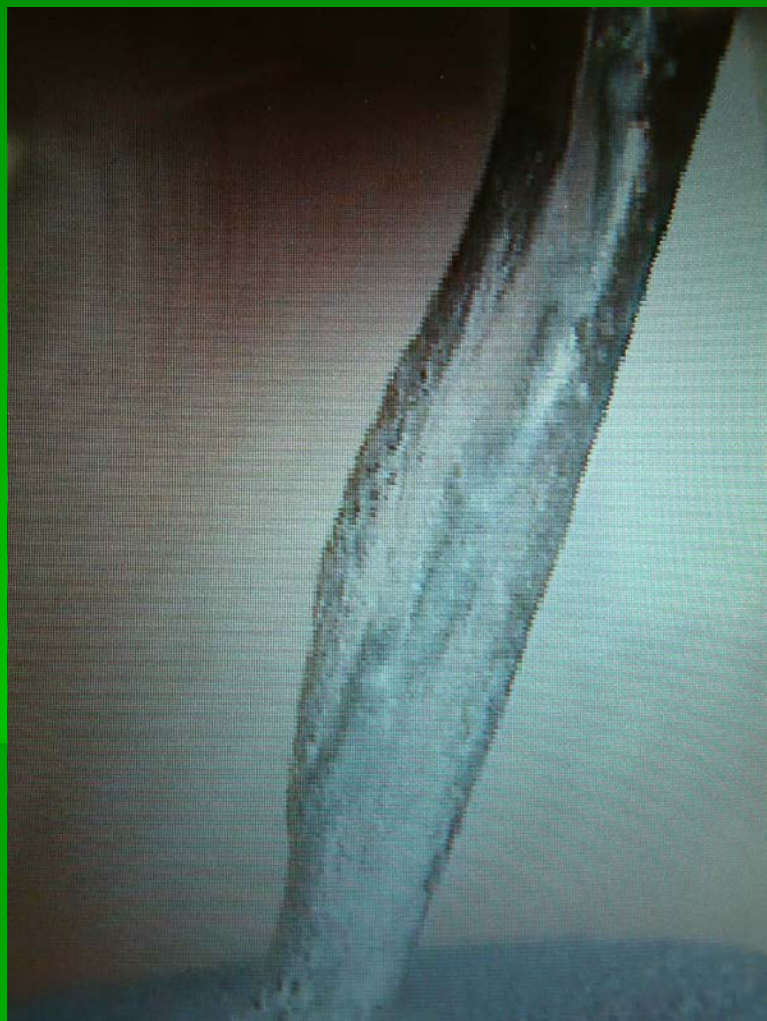
直線形成行った後で、Hファイル#30に  
カーブをつけ、根管形成すると、ターゲットに届  
きました。



# 拡大図



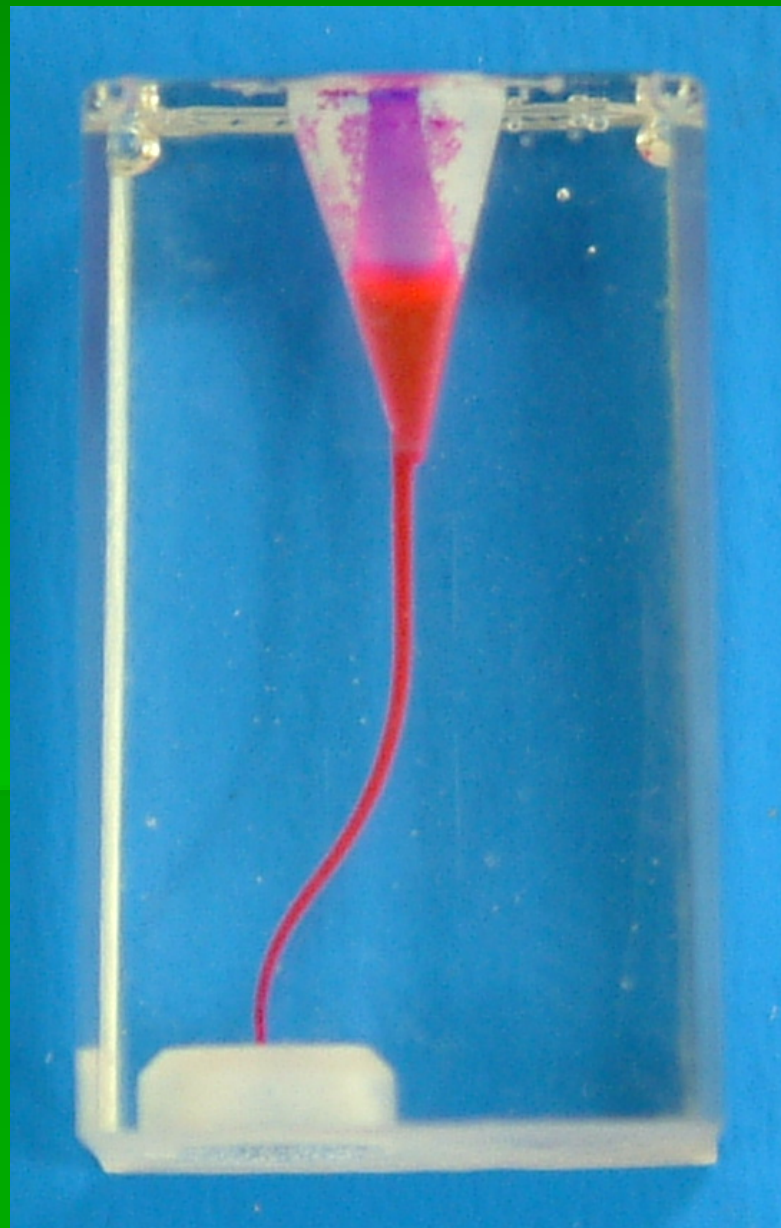
# 拡大図(STVの画像)



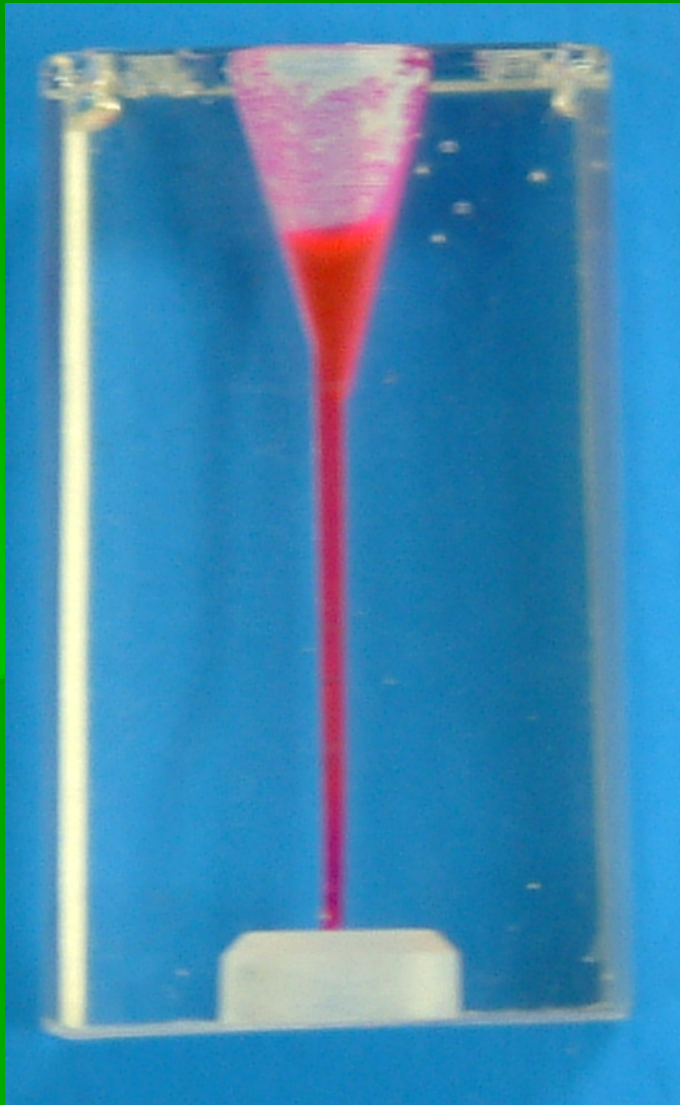
# 根管形成後



# 根管形成前→根管形成後1



# 根管形成前→根管形成後2



# デンタポート(モリタ) 1

◆対極はハンドピースにも付いていますが、必ずパイロットファイルにて、根管長測定を行うため、ファイルフォルダーに付いている対極を用いて、ハンドピースの方は使用していません。

◆ハンドピースのほうの対極のコードはジャマにならないように巻きつけています。



## デンタポート(モリタ)2

デンタポート(モリタ)左がファイルにて根管長測定をする画面、  
右がハンドピースをつけて使用する画面です、  
ハンドピースをつけ、NiTiファイル回転中も  
根管長測定が出来ることが長所です。



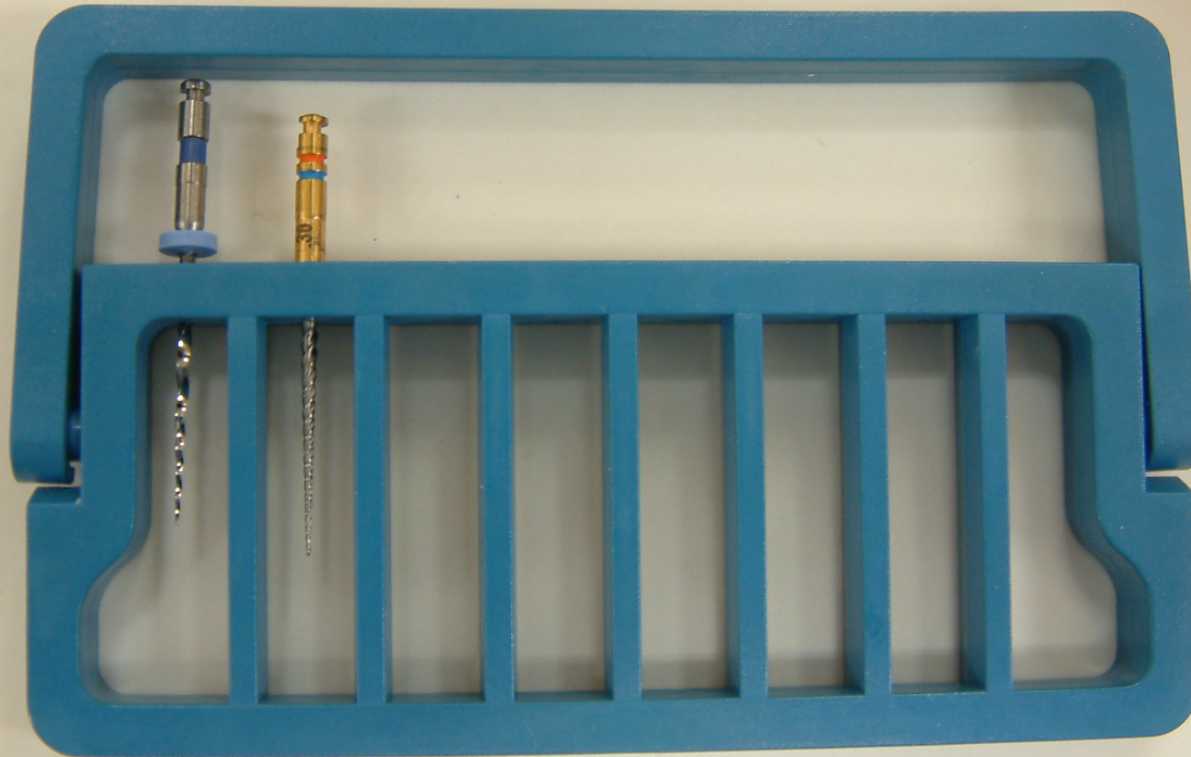


# デンタポート(モリタ)3

回転速度200rpm、トルクコントロール2  
APEXに達したときに逆回転する設定にして  
使用しています。



**NiTiのファイルの超音波洗浄と、  
オートクレーブ滅菌はこのような方法で  
行っています。**





《2006.8月7日痛みがあり来院》



《2006.9月13日》

## 症例1

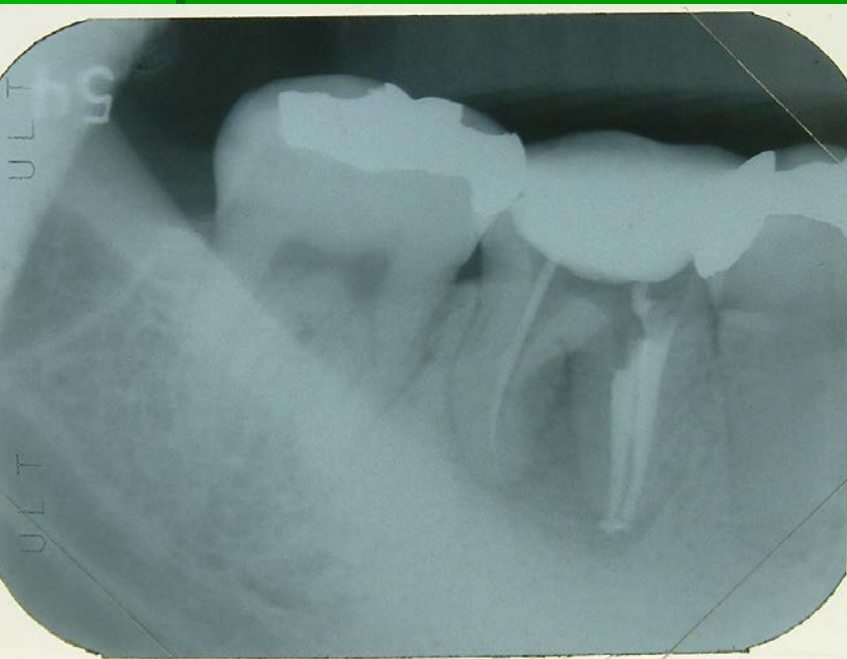
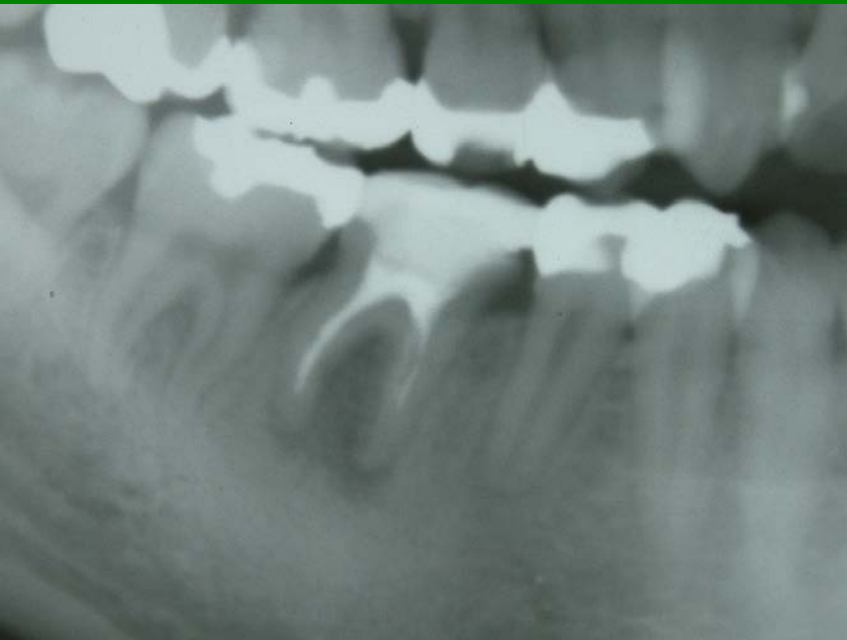


《2007.2月24日 検診時》



## 症例2

症例3



# 症例4



# 病例5



# 症例6

5 | No. 13 M·F  
H16 年 12月20日



5 | H17 年 2月2日

